

I 朝日町の小中学校の現状等

1 人口推移

朝日町の総人口は、1990年（平成2年）には10,417人でしたが、2020年（令和2年）には、6,366人に減少しています。国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によれば、2030年の総人口は5,125人、2040年では3,986人と推計されており、2020年から2040年の20年間で約37%減少すると予想されています。

15歳未満の年少人口も減少が続き、2020年時点は561人でしたが、2040年では275人と20年間で約50%減少すると予想されています。

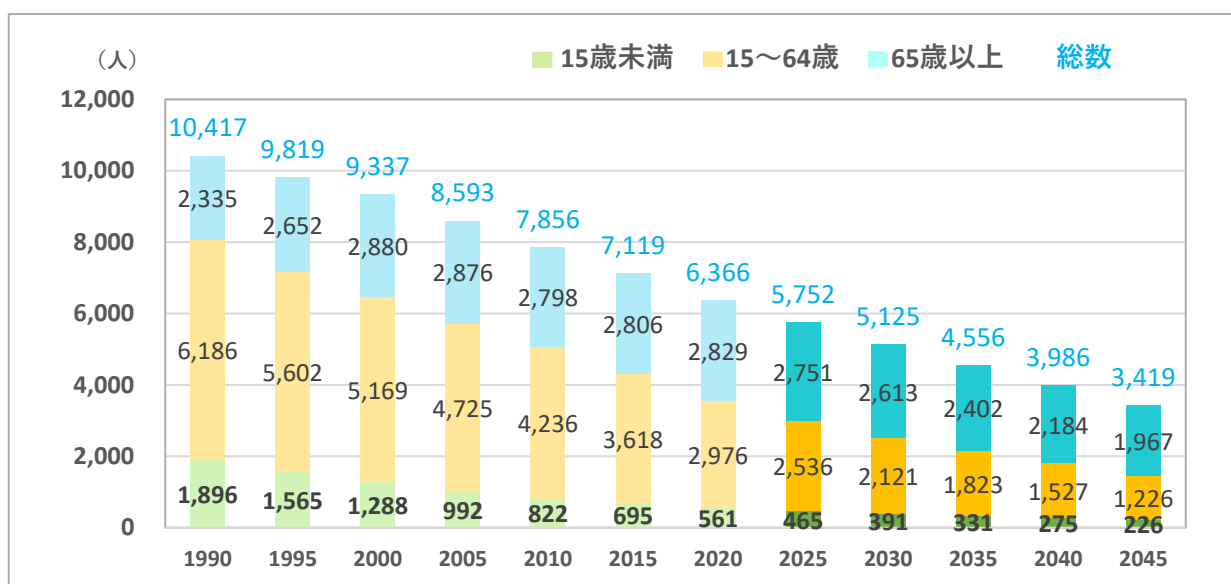


図 将来人口推移

※出典 1980～2020年: 国勢調査実績値、2025～2045年: 国立社会保障・人口問題研究所推計値

	実 績		推 計										
	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2035 R17	2040 R22	2045 R27
西五百川小学校	38	38	32	29	32	27	27	義務教育 学校	義務教育 学校	義務教育 学校	義務教育 学校	義務教育 学校	義務教育 学校
宮宿小学校	135	123	112	116	108	97	100						
大谷小学校	44	45	45	40	43	35	35						
小学校計	217	206	189	185	183	159	162						
朝日中学校	137	123	113	118	113	107	96	義務教育 学校	義務教育 学校	義務教育 学校	義務教育 学校	義務教育 学校	義務教育 学校
小中 計	354	329	302	303	296	266	258						

表 国立社会保障・人口問題研究所推計値に基づいた児童生徒数の推移

※2030以降の推計人数算出方法: 15歳未満推計値÷14(1年齢あたりの人数)×9(義務教育学校学年数)

Ⅲ 義務教育学校概要

1 形態

西五百川小学校、宮宿小学校、大谷小学校と朝日中学校を統合した9年制の義務教育学校

2 児童生徒数（2028年 令和10年度予想）11年度

~~児童数164名 生徒数94名 合計258名~~

児童数159名 生徒数93名 合計252名

■学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
児童生徒数	30	15	31	31	30	27	27	39	28	258
通常学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
特別支援学級数	前期課程 3（うち言語通級1）						後期課程 2			5

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
児童生徒数	22	30	15	31	31	30	27	27	39	252

3 教育課程編成の基本的な考え方

（原案として検討を進める）

教育課程	前期課程						後期課程		
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ステージ	ホップ				ステップ			ジャンプ	
目指す姿	【自分や友だちを大切に する子ども】				【思いやりの心で、相手の 立場になって行動できる 子ども】			【自他を愛し、感謝の心で社会に 貢献しようとする子ども】	
指導形態	学級担任制				教科担任制				
部活動					部活動（5年生から参加可能）				

＊教科担任制：教員が専門科目ごとに授業を担当し、教科の専門性を生かした授業を行う指導形態。

5年生から教科の学習が高度化することや発達の段階を踏まえて、一部教科担任制を取り入れます。また、それぞれの教科の学習に適した環境を整備します。

＊部活動参加：5年生から体験型を含む部活動への参加を可能にします。過度な活動にならないように配慮することを前提とし、先輩のアドバイスを受けたり、指導者から専門的な指導を受けたりすることにより、部活動を早めに体験することができるシステムを検討します。

基本計画

【整備方針3】

柔軟性・可変性

教育や社会の変化に柔軟に対応できる、可変性を持った学校を整備します。

◆学びの変化に対応できる学校

国際化・情報化が進み、学校における教育内容・教育方法がめまぐるしく変化していることを受け、多様な学習活動等に柔軟に対応できる、創造的な学習空間をつくります。

◆児童生徒数の変化に対応できる学校

児童生徒数の変化など、社会環境の変化に対応しやすいよう、「可変性」を持った建物を目指します。

【整備方針4】

安心・安全

子どもたちが安心して学ぶことができる安全な学校、また、教職員が働きやすい学校を整備します

◆心安らぐ、居心地の良い学校

採光、通風、温度等に十分配慮し、児童生徒が健康的に学校生活を送ることができる施設とします。**学校用家具に配慮し、児童生徒が使いやすい環境を整備します。**また、障がいの有無にかかわらず、意欲的に学びに参加できる「インクルーシブ^(注)」な空間をつくります。

◆安全な学校

地域開放により学校外との交流を大切にしながらも、適切な防犯対策を行い、安全な学校をつくります。

◆地域の防災拠点としての機能を有する学校

有事の際に避難施設として利用できるための機能、設備を整えます。

◆教職員が働きやすい学校

効果的・効率的な教室レイアウトや執務スペース、**学校用家具**、システム導入等により、教職員が働きやすく、働くことに喜びを感じられる学校をつくります。

(注) インクルーシブ (inclusive) とは、英語で“すべてを含んでいる、包括的”という意味で、インクルーシブ教育とは、全ての子供を包み込んだ教育という考え方です。障害、国籍、家庭環境等の事情で教育制度から子供たちを排除することなく、インクルーシブ教育の実現を目指していくことは、今や国際的な流れになっています。

【整備方針5】

環境配慮・省エネ

環境負荷が少なく、維持管理コストのかからない学校、木の温かみのある学校を整備します。

◆環境負荷の少ない学校

世界唯一の“空気神社”のある町として、省エネ設備の導入、自然エネルギーの活用、緑化等を進め、「ゼロカーボンシティ」の実現に寄与する施設とします。

◆木の温かみのある学校

内装・**学校用家具**には地域の木材を積極的に導入し、温かみがあり、調湿性や吸音性に優れた空間づくりを目指します。

◆省エネ、高効率、維持管理コストのかからない学校

省エネルギー、高効率で維持管理コストがかからない施設、雪国でも管理しやすい施設をめざし、永く愛され、大切に使い続けられる学校をつくります。

II 施設整備計画

1 必要面積の設定

類似規模校などを参考にしながらまとめた必要面積算定資料に基づき、屋内施設、屋外施設の面積を以下のとおり設定します。

敷地規模は、屋内・屋外施設の面積のほか、敷地内アクセス路、緑地、調整池等を想定する必要があります。また、敷地の形状によって利用できる範囲が大きく左右されるほか、建物の階数でも面積が変わります。

よって、現時点では、敷地規模に幅をもたせ、規模は、屋内・屋外施設面積の2倍程度を想定し、約 ~~4,64.8~~ha としました。

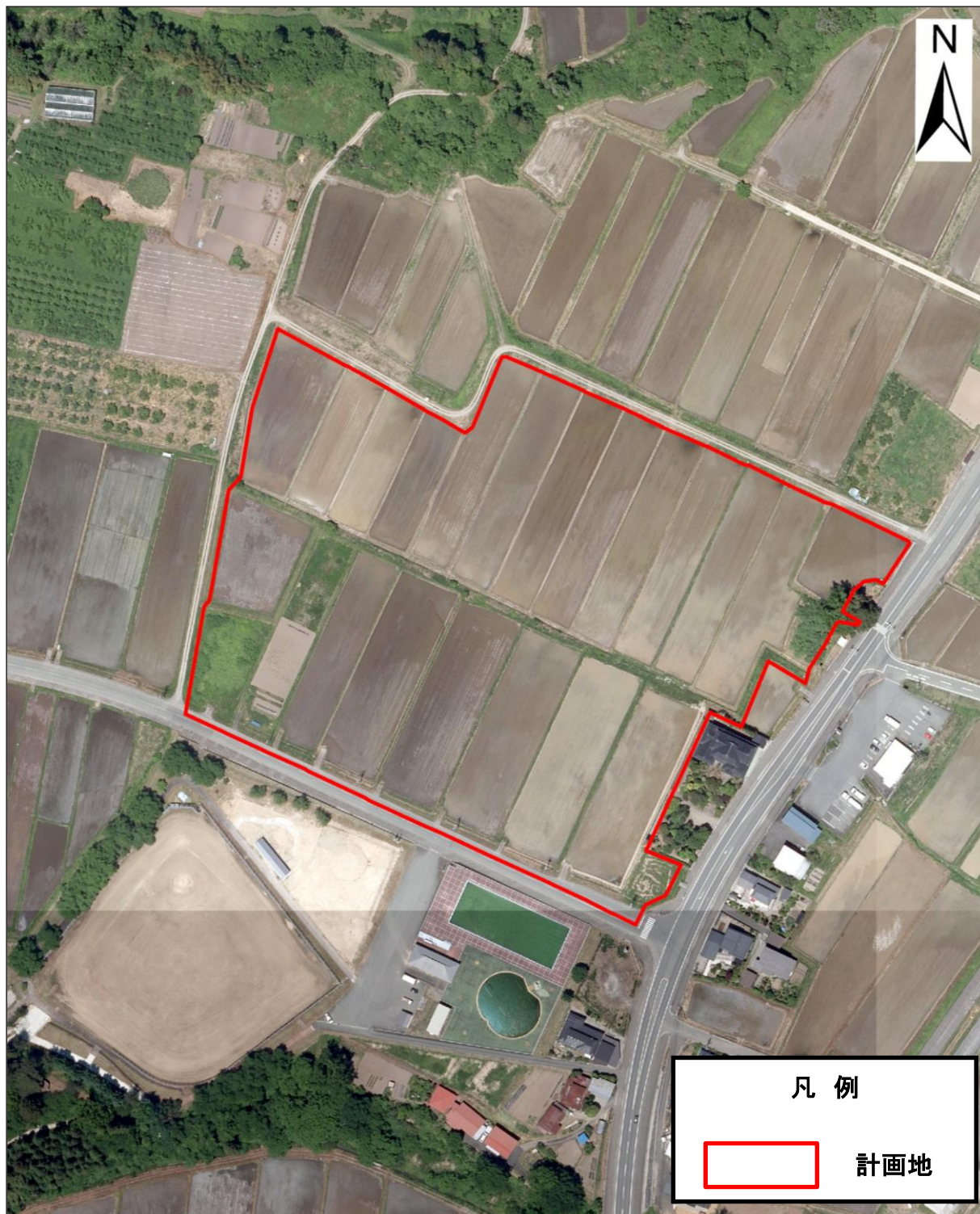
		面積 (㎡)	備考
屋内施設	①	9,200 10,435	普通教室、共用スペース・屋内運動施設、管理スペース、その他
屋外施設	②	13,355	グラウンド、テニスコート、駐車場等
小計	③ = ① + ②	22,615 23,790	
敷地規模	④ = ③ × 2	45,230 47,580	敷地内アクセス路、緑地（法面） 、調整池 等

2 施設整備予定地

施設整備用地については、以下の場所を選定しました。

◆朝日町大字四ノ沢字大道下 1015 ほか

地目：田ほか 地積：~~46,369~~約 48,300 m²



4 新施設の計画概要

適地選定結果を踏まえ、整備計画地を緑が丘公園北側農地とするとともに、検討資料を元に、下記の通り計画条件を設定しました。

項目	計画概要
計画地及び面積	地番：朝日町大字四ノ沢字大道下 1015 ほか 面積： 46,369 約 48,300 m ²
生徒数（開校時）	258 252人
学級数（開校時）	14 学級（普通学級9学級、特別支援学級5学級）
開校時期	令和10年（2028年）4月 令和11年（2029年）4月
総事業費（概算）	60 億円（税込み）を上限とする。 総事業費には用地費、造成費、インフラ整備費、建築工事費、設計費、備品購入費、引っ越し費用等を見込む。解体費については統合対象校1校分を含む。
整備予定施設 ※現時点で検討している内容で、未決定事項です。設計時にあらためて検討します。	【屋内施設：想定延床面積 約 9,20010,435 m²】 - 校舎：RC2階建て（RC 造を想定） - 武道場：柔道場、剣道場各 1 面ずつ - 給食調理室：最大調理食数 300 食 - 放課後児童クラブ（校舎併設） - 屋内運動場（大）：バスケットボールコート 2 面、ステージほか - 屋内運動場（小）：バスケットボールコート 1 面、ステージなし（S 造を想定） 【屋外施設・駐車場等：総面積 約 13,355 m²】 - グラウンド：300mトラック、直線 100m - テニスコート：2 面分 - 用具庫：体育用具、部活動用具 - 一般車駐車場：150 台 - スクールバス等車庫：7 台分 - その他（遊び場、駐輪場等）
その他 ※現時点で検討している内容で、未決定事項です。設計時にあらためて検討します。	- 図書館、体育館の地域開放（町立図書館、町民体育館機能を兼備） - 音楽室、図工室、家庭科室の地域開放 - 給食は自校給食方式を想定 ※プールは既存の町民プールを、野球場は緑が丘公園を利用することとし新規整備しない。また、夜間照明も設置しない。

6 導入機能・必要諸室の設定

基本構想、整備方針を踏まえ、新たな学校に導入する機能、必要諸室等については以下のとおりとします。

導入機能	導入機能の考え方	備考																																																											
普通教室	◆「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」では、小学校（義務教育学校の前期課程を含む）は35人以下、中学校（義務教育学校の後期課程を含む）は40人以下と定められています。計画校では、いずれの学年もこの人数以下となりますので、全学年1学級編成とします。 ◆将来的に1学年2クラス編成とする必要が出た場合は、学習ルームなどの柔軟な活用を検討することとします。	普通教室：9 室																																																											
	[現在と将来児童数] <table><tr><th rowspan="2">学年</th><th colspan="3">R5 中学校生徒数 —(123名)—</th><th colspan="5">R5 小学校児童数 —(206名)—</th><th colspan="5">今後の入学予定者数</th></tr><tr><th>3</th><th>2</th><th>1</th><th>6</th><th>5</th><th>4</th><th>3</th><th>2</th><th>1</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th></tr><tr><td>人数</td><td>54</td><td>33</td><td>36</td><td>43</td><td>39</td><td>28</td><td>39</td><td>27</td><td>27</td><td>30</td><td>31</td><td>31</td><td>15</td><td>30</td></tr><tr><td colspan="6">開校時の学年（義務教育学校）→</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> R10 開校時の想定人数—(258名)—		学年	R5 中学校生徒数 —(123名)—			R5 小学校児童数 —(206名)—					今後の入学予定者数					3	2	1	6	5	4	3	2	1	R6	R7	R8	R9	R10	人数	54	33	36	43	39	28	39	27	27	30	31	31	15	30	開校時の学年（義務教育学校）→						9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	学年			R5 中学校生徒数 —(123名)—			R5 小学校児童数 —(206名)—					今後の入学予定者数																																																	
3		2	1	6	5	4	3	2	1	R6	R7	R8	R9	R10																																															
人数	54	33	36	43	39	28	39	27	27	30	31	31	15	30																																															
開校時の学年（義務教育学校）→						9	8	7	6	5	4	3	2	1																																															
等に配慮します。																																																													
特別支援教室	◆特別支援教室等は、全職員で見守ることのできるよう職員室や保健室等との連携に配慮します。 ◆インクルーシブ教育の推進のため、普通教室等との連携に配慮します。 ※インクルーシブ教育とは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みです。	前期3学級、 後期2学級																																																											
	[現在と将来児童数] <table><tr><th rowspan="2">学年</th><th colspan="3">R6 中学校生徒数 (113名)</th><th colspan="5">R6 小学校児童数 (189名)</th><th colspan="5">今後の入学予定者数</th></tr><tr><th>3</th><th>2</th><th>1</th><th>6</th><th>5</th><th>4</th><th>3</th><th>2</th><th>1</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th></tr><tr><td>人数</td><td>33</td><td>36</td><td>43</td><td>39</td><td>28</td><td>39</td><td>27</td><td>27</td><td>30</td><td>31</td><td>31</td><td>15</td><td>30</td><td>22</td></tr><tr><td colspan="6">開校時の学年（義務教育学校）→</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> R11 開校時の想定人数（252名）		学年	R6 中学校生徒数 (113名)			R6 小学校児童数 (189名)					今後の入学予定者数					3	2	1	6	5	4	3	2	1	R7	R8	R9	R10	R11	人数	33	36	43	39	28	39	27	27	30	31	31	15	30	22	開校時の学年（義務教育学校）→						9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	学年			R6 中学校生徒数 (113名)			R6 小学校児童数 (189名)					今後の入学予定者数																																																	
3		2	1	6	5	4	3	2	1	R7	R8	R9	R10	R11																																															
人数	33	36	43	39	28	39	27	27	30	31	31	15	30	22																																															
開校時の学年（義務教育学校）→						9	8	7	6	5	4	3	2	1																																															
等として利活用する等、将来的に柔軟な対応ができる計画を検討します。																																																													

導入機能		導入機能の考え方	備考
		◆言語障害に対応した教室とする場合、正しい構音の練習に利用する鏡、練習後の手洗いやうがい等のための設備を教室の周辺部に計画します。 ◆情緒障害に対応した教室とする場合、心理的な不安定さを考慮して、安心してリラックスできる落ち着いた環境を確保します。 ◆障がいによる生活上の困難を克服するために必要な教育環境を確保します。 ◆安心して学校生活が送れるよう、特別支援教室専用のトイレやシャワー室を計画します。	
教科特別教室		◆教科の特性や学年毎の利用頻度を考慮して計画します。 ◆各特別教室（音楽室、図工・技術室、美術室、家庭科室、理科実験室）には、準備室等を配置します。 ◆総合的な学習や、個別学習、グループ学習など多様な学習形態に対応するため、学年ブロック毎に多目的に利用できる「学習ルーム」を導入します。 これは、将来的に1学年2クラス編成とする必要が出た場合に、普通教室としての活用も想定します。 ◆市民の利用が想定される音楽室、図工・技術室、美術室、家庭科室、図書室、体育館等は利用者が入りやすいように動線に配慮するとともに、夜間や休日など開放時間に応じたセキュリティ区分ができるように配慮します。 ◆音楽室は、児童生徒だけでなく市民も様々な活動ができる小ホール（講堂）機能*を持たせます。（プロジェクター・マイク等のAV設備の充実） *小ホール（講堂）機能については、体育館（小）や武道場との兼用も検討する ◆図工・技術室、美術室、家庭科室、理科室については、兼用（一つの部屋に複数の機能を持たせること）を検討する。	音楽室 図工・技術室 美術室 理科教室 家庭科室 英語教室 学習ルーム（3室）
共用スペース	児童生徒会室	◆児童生徒が主体となって様々な活動に取り組めるよう、児童生徒会室を設置します。	
	図書室	◆児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成する、学習・情報センターとして整備します。 ◆ICTの活用や情報教育環境を充実させるとともに、できるかぎり児童生徒が本や情報に親しみやすく、利用しやすい位置に計画します。 ◆地域住民利用（学校開放）や町立図書館機能を持たせること、さらには子どもたちがスクールバスの待ち時間を過ごす場所を想定し、児童生徒や地域住民がゆっくりとくつろぎ、ともに学べるような空間を整備します。	図書室 情報センター 町立図書館機能

導入機能		導入機能の考え方	備考
屋内運動場		◆体育館は、体育の授業のほか、集会や発表練習、部活動の場など様々な使い方が想定されることを踏まえ、機能を整理しながら大小2つの体育館を整備します。 ◆2つの体育館については、体育の授業、学校開放時の活動に必要な機能・規模をすみわけしながら確保するとともに、避難所としての利用にも配慮し計画します。 ◆避難所として利用することを考慮し、体育館またはその付近に、物資を備蓄できる防災備蓄倉庫を設置します。 ◆地域住民利用（学校開放）や、将来的には町民体育館機能も持たせることを想定し、更衣室や多目的トイレ、簡易的な観客席を整備します。	体育館（大）： バスケットボールコート2面、ステージ、放送室 体育館（小）： バスケットボールコート1面
武道場		柔道場1面、剣道場1面 体育館（小）、講堂との兼用を検討します。	
防災機能		◆避難所となる体育館に「防災備蓄倉庫」を導入します。 ◆大規模災害発生時の電源、生活用水等の確保の観点から、「非常用発電機」、「耐震性貯水槽」を導入します。 ◆避難所となる体育館や武道場については、空調設備の導入を検討します。	防災備蓄倉庫 (体育館に設置) 非常用発電機 耐震性貯水槽
メモリアルコーナー		◆旧小中学校の歴史や表彰トロフィー、記念品等の展示・保管を行うメモリアルコーナーを設置します。 ◆将来的には、地域の情報を発信することも想定します。	
地域活動推進室		◆スクール・コミュニティを推進するため、地域活動推進室を整備します。専任の事務員を配置し、学校と地域の橋渡し役や施設の貸し出しの業務を担います。夜間や休日は管理人の事務室としても活用します。	
多目的ホール（オープンスペース）		◆個別学習やグループ学習、部活動等での使用を想定し、廊下をオープンスペース等として利活用する等、将来的に柔軟な対応ができる施設を検討します。 ◆異学年との食事交流、食育学習等にも活用します。	前期・中期・後期ブロックごとに3箇所設置
相談室		◆クールダウンコーナーとしての活用も想定します。	
児童生徒用更衣室		◆社会の性に対する考え方の多様化や児童の心身の発達段階に応じて、懸念される羞恥心や戸惑いの軽減などを踏まえ、男女別の児童生徒用更衣室を設置します。	男女別で、2箇所（前期、中後期向け）設置

導入機能		導入機能の考え方	備考
	トイレ	◆バリアフリーの観点から多目的トイレを各階1箇所設置します。	
管理スペース	職員室	◆職員室は、セキュリティに配慮し、登下校する児童生徒や来客等の出入りが見やすいよう配慮します。	教職員約40名
	保健室	◆保健室は、運動時のけがの対応が迅速に行えるようにできるだけ体育館の近くとし、グラウンドから直接出入りができ、病院への搬送を考慮して救急車がアクセスしやすいよう配慮します。 ◆児童が利用できるシャワーユニットを導入し保健室の充実を図ります。	トイレ、シャワーユニット
	給食室	◆学校給食の充実のため、給食室を整備します。	
その他	放課後児童クラブ	◆児童の預けやすさ等を踏まえ、「放課後児童クラブ」を校内に併設します。 体育館（小）など、校舎の一部を学習の場、遊び場として使用することを想定します。また、放課後子ども教室としての機能もあわせた運営を検討します。	学童スペース
	駐車場等	◆児童生徒が安心して通学でき、スクールバスや自家用車での送迎の際に安全に乗降できるよう、ロータリー等の乗降スペースを設置します。 ◆スクールバス等用の車庫を導入するとともに、安全に方向転換できる旋回スペースや動線確保等に配慮します。	一般車150台 スクールバス7台等 駐輪場
屋外施設等	遊び場、運動施設等	・前期、中期の児童の遊び場 ・グラウンド：直線距離100m、陸上トラック一周300m、走り幅跳びレーンなど ・テニスコート：2面 ・体育用具及び部活用の用具庫 ・ピロティスペース ・生徒農園 等	

〔 導入機能と必要諸室 一覧表 〕

No	室 名	地域開放	No	室 名	地域開放
1 普通教室			3-14	体育館（小） 器具庫	●
1-1	1 年生		3-15	武道場	●
1-2	2 年生		3-16	防災備蓄倉庫	
1-3	3 年生		3-17	メモリアルコーナー	●
1-4	4 年生		3-18	地域活動推進室（兼管理人室）	●
1-5	5 年生		4 管理スペース		
1-6	6 年生		4-1	校長室	
1-7	7 年生		4-2	職員室	
1-8	8 年生		4-3	職員用更衣室	
1-9	9 年生		4-4	職員用トイレ	
1-7	特別支援教室①（前期）		4-5	保健室	
1-8	特別支援教室②（前期）		4-6	放送室	
1-9	特別支援教室③（前期）		4-7	印刷室	
1-10	特別支援教室④（後期）		4-8	会議室	
1-11	特別支援教室⑤（後期）		4-9	教材庫・資料室 1	
2 教科特別教室			4-10	教材庫・資料室 2	
2-1	音楽室	●	4-11	教材庫・資料室 3	
2-2	楽器庫		4-12	教材庫・資料室 4	
2-3	図工・技術室	●	4-13	倉庫（複数配置）	
2-4	技術準備室		4-14	書庫	
2-5	美術室	図工・技術室、美術室、理科室、家庭科室については同一空間の兼用を検討	4-15	給湯室	
2-6	美術準備室		4-16	ごみ倉庫	
2-7	理科室		4-17	児童・生徒用玄関	
2-8	理科準備室		4-18	職員玄関	
2-9	家庭科室	●	4-19	機械室	
2-10	家庭科準備室		4-20	エレベーター	
2-11	英語室		4-21	廊下・階段・手洗流し	
2-12	学習ルーム（3 室）		5 その他		
3 共用スペース・屋内運動場			5-1	給食室	
3-1	児童会・生徒会室		5-2	配膳室	
3-2	多目的ホール		5-3	給食室 休憩室	
3-3	相談室(2 室)		5-4	放課後児童クラブ	
3-4	児童・生徒用トイレ		5-5	放課後児童クラブ 事務室	
3-5	児童・生徒用更衣室		5-6	放課後児童クラブ トイレ	
3-6	多目的トイレ		6 屋外教育施設、駐車場等		
3-7	図書室	●	6-1	グラウンド	●
3-8	体育館（大）	●	6-2	テニスコート	●
3-9	体育準備室		6-3	ピロティスペース	●
3-10	体育館（大） 器具庫	●	6-4	部活用用具庫	
3-11	体育館（大） トイレ	●	6-5	駐車場	●
3-12	体育館（大） 更衣室	●	6-6	遊び場（前期・中期用）	●
3-13	体育館（小）	●	6-7	駐輪場	●

Ⅲ 事業スケジュール

事業スケジュールについては、以下のとおりです。令和 ~~40~~11 年4月の開校を目指し、今後具体的な検討を進めていきます。

なお、事業スケジュールは、あくまで目標年度です。設計条件や事業手続き等の進捗状況によっては変更になる可能性があります。

工種	R6	R7	R8	R9	R10
① 基本構想・基本計画					
② 測量・地質調査					
③ 用地交渉・用地買収					
④ 造成基本設計・実施設計					
⑤ 農振除外・農地転用					
⑥ 開発行為許可申請					
⑦ 建築確認申請					
⑧ 建築基本設計・実施設計					
⑨ 外構基本設計・実施設計					
⑩ 造成工事					
⑪ 建築工事（校舎・体育館）					
⑫ 外構工事					
⑬ 引っ越し・開校準備					

工種	R6	R7	R8	R9	R10
⑭ 基本構想・基本計画					
⑮ 測量・地質調査					
⑯ 用地交渉・用地買収					
⑰ 造成基本設計・実施設計					
⑱ 農振除外・農地転用					
⑲ 開発行為許可申請					
⑳ 建築確認申請					
㉑ 建築基本設計・実施設計					
㉒ 外構基本設計・実施設計					
㉓ 造成工事					
㉔ 建築工事（校舎・体育館）					
㉕ 外構工事					
㉖ 引っ越し・開校準備					